

日 時：平成 30 年 10 月 12 日（金） 14：00～17：00  
場 所：北里大学薬学部 プラチナタワー11 階会議室  
出席者：別記 1  
配付資料：別記 2

始めに、本間代表理事より、代表理事就任の報告と挨拶があった。

○報告・協議事項

1. 病院・薬局実務実習中央調整機構委員会 委員長の選任

第 8 期役員が選定されたことに伴い、4 名の担当理事が委員会のメンバーに加わった。これにより、改めて本委員会の委員長を選定することになり、本間代表理事が委員長を務めることになった。

2. 平成 30 年度第 I 期実務実習実施状況・実務実習の良い事例の報告

平成 30 年度第 I 期実務実習に関わる各地区の報告書（資料 1）および、平成 30 年度第 I 期実務実習の良い事例報告書（資料 2）を事前に中央調整機構委員会委員へ配付した。

第 I 期実習中には西日本豪雨が発生したため、二宮委員が対応について報告した。

また、これまで報告書に固有名詞の使用について特に決まりはなかったが、今後は大学や施設を特定できるような名称は使用しないことを申し合わせた。

3. 連絡会議関連

<報告>

● 平成 31 年度の実習施設割振り状況

平成 31 年度の実習施設割振りについて、各地区から順次報告があった。ふるさと実習については若干の未決定もあるが、各地区とも全体的には順調に進んでおり、薬局実習→病院実習の順番で行うこと、連続した期で実施することについても、ほぼ 100 パーセント調整できていると報告があった。なお、北海道地区については 11 月中に調整完了予定である。

● 先行導入について

第 I 期の先行導入に関する調査を実施した、関東地区、東海地区、中国・四国地区より資料に基づき報告があった。その他の地区については、第 I 期と第 II 期の連携も含めて第 II 期終了後に調査を実施する予定である。

● 良い実習の事例集の取り扱い、質の高い実習施設であることを表示する仕組みについて

良い事例を共有しても形骸化してしまい、何を基準とするかの判断が難しいと宮本委員が発言した。これに対して、関東地区では評価委員会が基準を定め、その基準に基づき大学に報告してもらっている。また、他の施設にも参考になるような事例を同委員会が選定し、発表の場を設けたと伊東委員が報告した。

## <協議>

### ● ふるさと実習の推進について課題とその解決策

ふるさと実習は、薬局実習と病院実習をセットで行うことが望ましいが、現状では、地域によっては病院の施設数が限られており、断らざるを得ない場合もある。また、どちらかだけを希望する場合でも対応しているとの報告があった。

平成 31 年度からの実習では、連続性の確保や 8 疾患の連携もあるため、出来る限りセットで行うことを改めて確認した。

ふるさと実習の推進については、画期的な方策を得るには至らなかったが、継続して協議することを申し合わせた。

### ● 各地区における連携に関する取り組み

8 疾患の連携について、各地区から順次報告があり、各地区ともにグループ化の実施や施設概要書のデータベース化等を行い、調整機構もしくは大学が責任を持って 8 疾患を実施できるよう調整していると報告があった。8 疾患の大半を実施出来ないような施設は受入施設には相応しくないことを確認した。8 疾患の連携に向けて、各地区で努力していただきたいと本間代表理事が発言した。

## 4. 薬学実務実習を支援する WEB システムの進捗状況

資料 4 に基づき、オブザーバーとして出席された WEB システム検討委員会 木津委員長が報告した。システムおよびマニュアルを早くリリースして欲しいとの意見が出された。事務局より再度業者へ依頼とリリース時期の確認を行う。

平成 31 年度第 I 期および第 II 期終了後にそれぞれアンケート調査を実施するので、協力をお願いしたい。また、WEB システムはあくまでも”ハコ”であり、各大学が運用について検討して欲しいと木津委員長が発言した。

また、病院実習の評価について、軽微な文言の修正があると石井委員から報告があった。

## 5. 平成 31 年度実務実習に向けて残っている課題について

「4.チーム医療への参画」「5.地域の保健・医療・福祉への参画」の評価については、検討中との地区が多かった。近畿地区では、日付だけではなくコメント欄を設け、どのような観点で評価したか残せるようにしたと橋詰委員が紹介した。

## 6. アドバンスワークショップの修了証の取り扱いについて

オブザーバーとして出席された須田顧問が次のように説明した。

「学習成果基盤型教育（OBE）に基づいたカリキュラムプランニングについて情報の共有化を図ることを目的としたアドバンスワークショップ」（以下、OBE のアドバンスワークショップ）の修了証を、認定実務実習指導薬剤師の更新講習の受講証に代えて、更新申請の際に使用できるよう調整を進めてきたが、日本薬剤師研修センターより、既に発行した修了証を指定の様式にて再発行してほしいとの依頼があった。しかし、既に約 8,000 人に修了証を発行しているため、改めて修了証を発行することは現実的に難しいと申し入れた。平成 31 年度の実務実習に更新手続きが間に合うよう制度を整備して欲しい旨要望しているが、現在先方より回答を待っている状況である。

また、OBE のアドバンスワークショップを何時まで続けていくかについては、各地区の状況に合わせて検討して欲しいと須田顧問が発言した。

#### 7. 2020 年度の実務実習実施日程についての検討

前回の中央調整機構委員会において、第 I 期を 2 月開始ではなく 4 月開始にしても良いのではないかとの意見が出されていたが、まだ一度も 2 月開始の実習を実施していないこと、連絡会議において紆余曲折の末に 2 月開始が決定したことから、2020 年度の実務実習は、平成 31 年度と同様に原則 2 月 25 日開始とすることでまとまった（資料 5）。ただし、例年同様に、各地区の合意のもとで、祝日の取り扱い等に伴う日程の調整は可とする。

なお、2 月開始、4 月開始のそれぞれのメリットを整理する必要がある。将来的な問題として、4 月開始について連絡会議に諮って欲しいとの意見が出された。

2020 年度の実習は東京オリンピックへの対応が必要であると石井委員が発言した。実習中の学生は実習を優先するよう表明する必要があるとの意見が出された。

また、平成 31 年度第 I 期の実習期間中、天皇即位に関する祝日により 10 連休となることについて、薬学教育協議会としては、祝日制定に伴う実習日程の変更はしないことを確認した。ただし、各地区の合意のもとでの調整は可とした。

#### 8. その他

- 平成 31 年度実務実習広報用ポスターの作成について

日本薬剤師会と日本病院薬剤師会に交互に協力を得て、ポスターを作成することになっている。平成 31 年度のポスターの撮影場所は病院となる。本間代表理事より日本病院薬剤師会へ協力のお願いがあった。

- PMDA からのお知らせについて

医薬品医療機器総合機構(PMDA)から学生に対する資料配付に関する協力依頼があった。詳細は資料 7 を参照。

- グループ実習の契約について、日本病院薬剤師会は契約には介入しないとの立場を石井委員が説明した。

- 永田委員から、以下の件の対応に関して発言があった。近畿地区の大学より、「薬局 11 週→病院 11 週」ではなく当該大学が新たに作成した実習計画に基づく協力依頼が近畿地区調整機構等にあった。本委員会としては、11 週ずつの実習を実施すべきであるとの立場であり、対応は近畿地区調整機構に委ねることになった。

- 事前学習については統一された概略評価表がないため、近畿地区では独自に作成している。事務局から各地区へ配付することになった。

以上

別記1 第37回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会出席者名簿

所属	出席者名 (敬称略)	出欠
北海道地区調整機構	宮本 篤	○
東北地区調整機構	小笠原 恵子	○
関東地区調整機構	伊東 明彦	○
	吉山 友二	○
北陸地区調整機構	新田 淳美	○
東海地区調整機構	脇屋 義文	○
近畿地区調整機構	橋詰 勉	○
中国・四国地区調整機構	二宮 昌樹	○
九州・山口地区調整機構	原 周司	○
日本薬剤師会	田尻 泰典	○
	永田 泰造	○
日本病院薬剤師会	栗原 健	欠
	石井 伊都子	○
日本保険薬局協会	原 正朝	○
WEB システム検討委員会委員長 (オブザーバー)	木津 純子	○
薬学教育者ワークショップ実施委員会 (オブザーバー)	須田 晃治	○
薬学教育協議会本部	本間 浩	○
	平田 收正	欠
	望月 正隆	○

日本チェーンドラッグストア協会 (オブザーバー)	小田 兵馬	欠
--------------------------	-------	---

文部科学省高等教育局医学教育課	光本 明日香	○
	平尾 英里	○
厚生労働省医薬・生活衛生局総務課	安川 孝志	○
	中 雄一郎	○
	三山 由美子	○

**別記 2** 配付資料

- 資料 1 : 平成 30 年度第 I 期実務実習に関わる各地区の報告書
- 資料 2 : 平成 30 年度第 I 期実務実習の良い事例の報告書
- 資料 3 : 連絡会議への報告書
- 平成 31 年度に向けた調整進捗状況
  - 平成 28～30 年度ふるさと実習実施状況
  - 平成 29 年度実務実習の良い事例報告集
  - 各地区先行導入状況（大学に対する文科省調査（2018 年 7 月実施）結果より）
  - 改訂薬学実務実習の先行導入およびアンケート調査実施状況
  - 先行導入についてのアンケート調査結果（関東地区）
  - 先行導入についてのアンケート調査結果（東海地区）
  - 先行導入についてのアンケート調査結果（中国・四国地区）
  - 先行導入を実施しての意見（第 I 期実習報告書より）
- 資料 4-1 : **WEB** システムに関する要望（富士ゼロックスからの回答）
- 資料 4-2 : **WEB** システム修正依頼事項
- 資料 4-3 : パフォーマンスレベル表（搭載用）（日本薬剤師会作成）
- 資料 4-4 : **WEB** システム確認状況
- 資料 4-5 : 実務実習指導・管理システムご案内資料（富士ゼロックス）
- 資料 4-6 : 実務実習進捗ネットワークツールトライアル利用のご案内（STS）
- 資料 4-7 : 第 9 回 **WEB** システム検討委員会議事録
- 資料 5 : 2020 年度の実務実習実施日程（案）
- 資料 6 : 実務実習広報用ポスター（平成 30 年度）
- 資料 7 : **PMDA** メディナビ活用のための啓発資材配布ご協力依頼（**PMDA**）
- 第 36 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録